

Energy Storage Summit Japan 2020 オンライン開催決定！

エネルギー貯蔵業界のエキスパートが世界から集結！
日本のどこからでも最新の蓄エネルギー情報にアクセスできます。

2020年 12月8日(火)10:00~17:30
ウェビナーライブ配信+オンラインネットワーキング

12月8日公開セミナーセッションテーマ

セッション1: レジリエンスとまちづくり	セッション4: 世界のエネルギー政策:国際比較
セッション2: モビリティとバッテリー - トrend・技術	セッション5: パネルディスカッション
セッション3: 次世代エネルギーネットワーク	※全て日英同時通訳付き

ESSJ 2020 企画委員

ESSJ 2020 セッションテーマおよびコンテンツは下記有識者の方々にアドバイスを頂いております。



亜細亜大学
都市創造学部
教授
岡村 久和氏

ESSJ 2020
企画委員長



ブルームバーグNEF
日本市場再生可能
エネルギーアナリスト
菊間 一柊氏



東京電力ホールディングス
株式会社
技術戦略ユニット
技術統括室
プロデューサー
三井 博隆氏



アクセンチュア株式会社
戦略コンサルティング
本部
マネージング・ディレクター
伊藤 剛氏



株式会社エバーグリーン
エナジー イニシアティブ
代表取締役社長
勝又 淳旺氏

会議参加費用(税別)

- | | |
|----------------------|---------|
| ● 12月8日 ESSJ2020 一日券 | 27,000円 |
| ● グループ割引 | |
| 同時に3人以上の申し込み | 24,000円 |
| 同時に5人以上の申し込み | 18,000円 |

■参加申込はウェブショップから: <https://shop.messe-dus.co.jp/>

ESSJデスク
株式会社メッセ・デュッセルドルフ・ジャパン
〒102-0094 東京都千代田区紀尾井町4-1
ニューオータニガーデンコート7F
Tel. 03-5210-9951
essj@messe-dus.co.jp
<https://essj.messe-dus.co.jp>



ESSJ 2020: International Conference for
Energy Network・Teaming・Innovation
～付加価値創造に向けたエネルギーのネットワークと協働と革新～

12月8日(火)公開セミナープログラム(暫定)

10:00	開会挨拶
10:10-11:30	セッション1: レジリエンスとまちづくり モデレーター: 岡村 久和氏(亜細亜大学 都市創造学部 教授)  フィンランド大使館商務部(ビジネスフィンランド) 商務部代表 ペッカ・ライティネン 氏  アドバンテージ オーストリア(オーストリア大使館商務部) 副商務参事官 アーノルド・アカラー 氏  シーメンス・ガメサ・リニューアブル・エナジー社 ハサン オズデム氏
11:30-11:45	コーヒーブレイク/Coffee Break
11:45-12:55	セッション2: モビリティとバッテリー - トrend・技術 モデレーター: 花房 寛氏 (InsuRTAP株式会社 代表取締役)  ロバート・ボツシュ Connected Mobility Solutions 副社長 カロリン・ライシャート氏  関西電力株式会社 経営企画室 イノベーションラボ 担当部長/モビリティユニット チーフストラテジスト 上田 嘉紀氏
12:55-14:00	ランチ休憩
14:00-15:20	セッション3: 次世代エネルギーネットワーク モデレーター: 菊間 一柊氏 (BloombergNEF 日本市場再生可能エネルギーアナリスト)  東京電力 パワーグリッド株式会社 取締役副社長 岡本 浩氏  EDF研究所(シンガポール) マネジング・ディレクター マキシム・カサ氏  モイクサ・テクノロジー社 CTO クリス ライト氏
15:20-15:35	コーヒーブレイク/Coffee Break
15:35-16:45	セッション4: 世界のエネルギー政策: 国際比較 モデレーター: A. ハウアー博士(バイエルン州立エネルギー研究所 エネルギー貯蔵担当部長)  ヒカリ・レイ代表 ジェフリー・ミラー氏  経済産業省 資源エネルギー庁 省エネルギー・新エネルギー部 新エネルギーシステム課長 白井 俊行氏
16:45-17:00	コーヒーブレイク/Coffee Break
17:00-17:30	パネルディスカッション
18:00-18:45	オンラインネットワーキング

※This program is subject to change. / このプログラムは現時点のもので変更される可能性があります。

後援(国際・政府機関)



パートナー



メディア・パートナー



コンテンツアドバイザー

